

令和 5 年度

事 業 報 告 書

令和5年度事業報告書

感染症法上の位置づけが5月に変更され、マスクの着用など新型コロナの感染対策は法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、個人の自主的な取組をベースとしたものとなった。健診8団体が作成したガイドライン「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」もそのような状況を踏まえて改正したが、各会員においてはそれぞれ実情に応じて感染対策に取組んでおり、健診実績も堅調に推移している。

一方、規制改革会議での議論や女性労働者の増加や労働力人口の高齢化を背景として、厚生労働省に設置された「労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」において一般健康診断の検査項目等に関する議論が開始された。詳細な検討は令和6年度に行われることとなるが、会員の事業に大きく関わることであり、会員の実情を踏まえた検討会への参画が重要となる。また、同じく厚生労働省に設置された「産業保健のあり方に関する検討会」終了後に公表された「議論の概要」において、「健診機関においては質の担保のために、健診の精度管理が重要」との意見が掲載されるなど、精度ある健康診断の実施が求められている状況であり、今後とも一層精度管理に関する事業や周知啓発などの取組を進めていくことが必要である。

全衛連事業については、新型コロナウイルス感染症の5類移行等も背景として、研修参加者が令和4年度と比較して増加するなど、適切に進めることができた。

以下、令和5年度全衛連事業実施結果について報告する。

1 調査研究・広報事業

(1) 調査研究

1) ストレスチェック結果の集計・分析

令和4年に会員が実施したストレスチェック実施結果を集計分析し、報告書を取りまとめ、公表した。また、健康リスク（全国、業種別、男女別）を算出し公表するとともに、当該結果を令和5年度サービスに反映させるため、全衛連ストレスチェック処理システムのデータベースを変更した。

実施内容	開催方法	開催日等
メンタルヘルス専門委員会開催 ・健康リスクの検討ほか	オンライン	3月22日
職場健康リスク公表	—	3月31日
ストレスチェック処理システム・データベース変更	—	4月1日
令和4年ストレスチェック実施結果報告書公表	—	9月

2) 健康診断標準フォーマット

事業者、健康保険組合等に対し、日本医学健康管理評価協議会が作成した健診標準フォーマットの普及に努めた。

日本医学健康管理評価協議会が運用する健診結果データ標準化共同センター（HASTOS）の本格運用に向けて、同協議会総会・WG 合同会議に参加した。

3) 全衛連実勢調査

会員機関の令和 4 年度健診事業等の実勢を把握し、報告書として取りまとめた。また、概要をホームページで公表した。

実施事項	実施時期等
全衛連実勢調査の実施	6 月～8 月
報告書のとりまとめ（会員送付）	11 月
調査結果の概要 ホームページに公表	11 月

4) 新型コロナウイルス問題への対応

健診 8 団体が作成したガイドライン（令和 2 年 5 月 1 日）について、5 月 8 日に感染症法での新型コロナウイルス感染症の位置づけが 5 類感染症に変更されたことを踏まえ、記載内容を変更した（5 月 8 日）。また、5 月 17 日に日本呼吸器学会から呼吸機能検査に関する新たな提言が出されたこと等を背景として、「呼吸機能検査」及び「内視鏡検査」の項目の記載内容を変更した（9 月 14 日）。

5) 化学物質の自律的な管理における健康影響モニタリングに関する検討への対応

「職場における化学物質のあり方に関する検討会報告書」（令和 3 年 7 月）での提言を踏まえ、令和 4 年 5 月に労働安全衛生規則等が改正され、令和 6 年 4 月から、リスクアセスメント対象物質について、リスクアセスメントの結果に基づき必要な健康診断を行うことが事業者の義務となった。このリスクアセスメント結果に基づき行う健康診断に関して、厚生労働省が示すガイドラインの案を検討することを目的として、令和 4 年 7 月に労働安全衛生総合研究所に設置された「化学物質の自律的な管理における健康モニタリングに係る専門家会議」に全衛連から委員を推薦し、ガイドライン案の検討に参画した。検討に当たっては、会員に情報提供し、適宜意見を求め、会員の実態や意見を反映できるよう努めた。

また、10 月 17 日に厚生労働省から示された「リスクアセスメント対象物健康診断に関するガイドライン」について、会員を対象とした説明会を 10 月 10 日にハイブリッド方式により開催し、会場にて 30 人、オンラインにより 358 人が参加した。さらに、ガイドラインの運用に関して日本産業衛生学会等から参考となる資料が示されたことから、会員以外の健診機関にも参加を呼び掛け、令和 6 年 3 月 13 日に「リスクアセスメント対象物健康診断に関するガイドライン」運用に関するオ

オンライン説明会を実施し、1,160人が参加した。

6) 一般健康診断の経年動向に関する調査

令和4年度に厚生労働省からの委託を受け、会員機関の協力を得て実施した男女別・健診項目別の有所見率の経年動向について、引き続き調査を行った。

7) 厚生労働省における「労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」への対応

規制改革実行計画等を踏まえ、12月に厚生労働省に設置された「労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」に構成員として検討会に参加した。今後の検討に資するために、会員機関の協力を得て、胸部X線検査、心電図検査、眼底検査及び骨密度検査に関する会員機関の実態調査を行った。

8) 健康診断業務の実施に関する検討

健康診断を行うに当たり一部業務を他の健診機関に委託する際に、留意すべき事項をまとめ、精度ある健診を行うことができるよう、8月に「健康診断業務の実態に係る検討会」を開催して実態を把握した。また、それに続き、外部委員の参画も得て、10月から令和6年2月にかけて「健康診断等の委託関係のあり方に関する検討委員会」を開催し、「健康診断の委託関係に係る規程」を検討した。

同規程は3月に開催された理事会において承認された（令和6年3月19日施行）。

9) その他厚生労働省が行う調査研究等への参加

令和5年度を初年度とする以下2件の労災疾病臨床研究を開始した。いずれも、毎年継続の可否について審査が行われるが、継続が認められれば3年間で研究を行う予定。

①有害業務に係る特殊健康診断の諸課題に対する実態把握と課題解決のための調査研究

（研究代表者：森 晃爾 全衛連労働衛生サービス機能評価委員会 委員長）

②健康管理手帳制度による健康診断の諸外国での実施のための研究

（研究代表者：菅沼 成文 全衛連胸部X線検査専門委員会 委員）

このうち、①については、特殊健康診断及び結果判定に関する健診機関の実態把握のため、会員に対してアンケート調査を行うとともに、一部の会員に対しては、判定医等に対してヒアリングを行うなど、会員の協力を得た。

(2) 広報・出版

1) 心とからだの健康推進運動

厚生労働省の実施する「職場の健康診断実施強化月間」と連携し、令和 5 年度「心とからだの健康推進運動」を 9 月に実施し、受診率向上及び心身両面にわたるトータルな健康づくりを啓発した。また、運動チラシ 106,000 枚を作成し、会員機関、関係団体に配布した。

令和 5 年度 心とからだの健康推進運動標語

「健診で守ろう あなたの心とからだ 見つかる安心 つみとるリスク

2) 出版

4 月、図書「令和 5 年版 働く人の健康」を発刊した。令和 6 年 3 月、図書「2024 年度版 よくわかる健康診断・人間ドック」を発刊した。

2 評価・認定事業

(1) 労働衛生サービス機能評価認定

1) 認定施設調査

コロナ禍により令和 2 年度より認定手続きの変更対応をしているが、令和 4 年度更新対象となった認定施設で令和 5 年度調査を希望した施設に対してオンラインによる調査を実施した。

更新対象年度	申請手續年度	認定期間
令和 2 年度	令和 2 年度	令和 3 年 6 月～令和 7 年 5 月
	令和 3 年度	令和 4 年 6 月～令和 7 年 5 月
令和 3 年度	令和 3 年度	令和 4 年 6 月～令和 8 年 5 月
	令和 4 年度	令和 5 年 6 月～令和 8 年 5 月
令和 4 年度	令和 4 年度	令和 5 年 6 月～令和 9 年 5 月
	令和 5 年度	令和 6 年 6 月～令和 9 年 5 月

なお、労働衛生サービス機能評価委員会の活動状況は次のとおりである。

実施内容	開催方法	開催日
第 1 回評価委員会 ・令和 4 年度申請施設の審査 (会員 36、非会員 7)	オンライン	5 月 19 日
令和 5 年度申請施設説明会	オンライン	9 月 4 日
令和 5 年度訪問調査者会議	オンライン	9 月 30 日
更新申請施設オンライン調査実施	オンライン	1 月～3 月

<参考>労働衛生サービス機能評価認定施設（令和6年3月末現在）

会員	非会員	計
114	23	137

2) 新たな労働衛生サービス機能評価基準 Ver.8.0 の検討

令和6年度調査から適用される労働衛生サービス機能評価基準 Ver. 8.0について、令和5年度に労働衛生サービス機能評価委員会のもとに設置されたワーキンググループでの検討を整理し、取りまとめを行った。

認定施設138施設に対し、9月に同評価基準 Ver. 8.0に関するオンライン説明会を実施した。

(2) 総合精度管理調査

1) 令和5年度総合精度管理調査

令和4年度総合精度管理調査においてはコロナ禍を踏まえ、参加機関の負担軽減のため、提出症例画像数を減らすなど、実施方法を一部変更していたが、令和5年度はコロナ禍前の実施方法に戻して実施した。

このうち、労働衛生検査精度管理調査に関しては、評価項目のひとつである尿中2,5-ヘキサンジオンについて、溶媒である人工尿を前年度までの仕様のものからJIS仕様のものに変更した際に、必須となる試料の安定性の確認を行わなかったことから、経時的に濃度が減衰することを事前に把握できなかった。このため、参加施設に報告する施設評価結果通知書においては2,5-ヘキサンジオンを除外して施設評価を行った旨を記載した報告文書を同封し、詳細については後日作成する精度管理結果報告書で報告することとした。

なお、総合精度管理委員会の活動状況は次のとおりである。

委員会及び議題	開催方法	開催日等
1 総合精度管理委員会 ・各専門委員会より、令和4年度結果及び令和5年度計画について報告され承認	ハイブリッド	4月28日
・「令和5年度総合精度管理調査結果の概要」 公表	—	5月
2 労働衛生検査専門委員会 第1回委員会 第2回委員会 第3回委員会	ハイブリッド	6月9日 ハイブリッド 12月25日 ハイブリッド 2月16日
「令和5年度労働衛生検査報告書」公表		6年6月(予定)

3 臨床検査専門委員会		
第 1 回委員会	ハイブリッド	6 月 20 日
第 2 回委員会	ハイブリッド	10 月 11 日
第 3 回委員会	ハイブリッド	3 月 26 日
「令和 5 年度臨床検査報告書」公表	—	6 年 6 月(予定)
4 胸部 X 線検査専門委員会	ハイブリッド	4 月 14 日
・画像審査会		11 月 11 日、 12 日、25 日
「令和 5 年度胸部 X 線検査報告書」公表	—	3 月
5 胃 X 線検査専門委員会	オンライン	4 月 17 日
・画像審査会		2 月 3 日、4 日、24 日
「令和 5 年度胃 X 線検査報告書」公表		6 年 4 月
6 腹部超音波検査専門委員会		
第 1 回委員会	オンライン	4 月 22 日
第 2 回委員会	オンライン	11 月 6 日
・画像審査会		12 月 2 日、3 日、9 日、10 日
「令和 5 年度腹部超音波検査報告書」公表	—	3 月

2) 総合精度管理調査結果

① 労働衛生検査

評価		令和 5 年度		令和 4 年度		令和 3 年度	
A	85 点以上	321	99.7%	324	100.0%	338	99.7%
B	70 点以上 85 点未満	1	0.3%	0	0.0%	1	0.3%
C	60 点以上 70 点未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
D	60 点未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計		322	100.0%	324	100.0%	339	100.0%

② 臨床検査

評価		令和 5 年度		令和 4 年度		令和 3 年度	
A	85 点以上	337	99.7%	333	99.1%	337	100.0%
B	70 点以上 85 点未満	1	0.3%	3	0.9%	0	0.0%
C	60 点以上 70 点未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
D	60 点未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計		338	100.0%	336	100.0%	337	100.0%

③ 胸部X線検査

評価		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
A	85点以上	335	92.0%	300	85.5%	297	82.5%
B	70点以上 85点未満	29	8.0%	51	14.5%	62	17.2%
C	60点以上 70点未満	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
D	60点未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計		364	100.0%	351	100.0%	360	100.0%

④ 胃X線検査

評価		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
A	85点以上	149	66.5%	159	72.3%	145	66.5%
B	70点以上 85点未満	71	31.7%	57	25.9%	67	30.7%
C	60点以上 70点未満	3	1.3%	3	1.4%	5	2.3%
D	60点未満	1	0.5%	1	0.4%	1	0.5%
計		224	100.0%	220	100.0%	218	100.0%

⑤ 腹部超音波検査

評価		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
A	85点以上	167	62.3%	162	60.5%	206	73.6%
B	70点以上 85点未満	91	34.0%	93	34.7%	71	25.4%
C	60点以上 70点未満	8	3.0%	11	4.1%	3	1.1%
D	60点未満	2	0.7%	2	0.7%	0	0.0%
計		268	100.0%	268	100.0%	280	100.0%

3) 胃内視鏡検査精度管理調査実施に関する検討

令和4年度に厚生労働省、日本消化器がん検診学会及び全衛連の三者で行った全国規模の実態調査（1,119施設回答、回収率28.3%）について、結果の分析について関係者間で検討し、実態調査結果としてとりまとめた。

4) 労働衛生検査精度の維持、向上

労働衛生検査精度向上研究会と連携し、次表の検体試料についてクロスチェックを実施し、労働衛生検査分析技術の維持・向上を図った。

なお、クロスチェック結果については、広報誌「労働衛生管理」及びホームページで公表した。

クロスチェック試料	実施時期
馬尿酸 (HA)、メチル馬尿酸 (MHA)	4月
デルタアミノレブリン酸 (δ -ALA)	6月
総三塩化物 (TTC)	8月
N-メチルホルムアルデヒド	10月
重金属	12月
2,5-ヘキサンジオン (2,5-HD)	2月

3 教育・研修事業

令和5年度教育研修は、対面、オンライン又はハイブリッドの3つの方法により実施した。

<令和5年度教育研修会開催実績>

研修コース	開催日	参加者
特殊健康診断オンライン研修会	8月18日	150
保健師・看護師等研修会（労働衛生コース）	8月29、30日	70
保健師・看護師等研修会（保健指導コース）	12月21、22日	58
検体検査精度管理オンライン研修会	7月28日	28
生理機能検査（呼吸機能検査）オンライン研修会	1月18日	49
生理機能検査（眼底検査）オンライン研修会	1月24日	98
生理機能検査（心電図検査）オンライン研修会	1月30日	97
生理機能検査（採血・血圧測定）オンライン研修会	2月7日	122
情報機器作業健康診断研修会	8月22、23日	44
選別聴力検査研修会1	8月8日	68
選別聴力検査研修会2	8月21日	68
選別聴力検査研修会3	12月6日	68
胸部X線検査オンライン研修会（精度管理・基礎コース）	8月26日	72
胃X線検査オンライン研修会（精度管理・基礎コース）	7月8、22日	91
胃X線検査研修会（専門・中級コース）	3月23日	35
腹部超音波検査研修会（精度管理・基礎コース）	2月24日	32

腹部超音波検査ハイブリッド研修会（精度管理・中級コース）	8月5日	118
ストレスチェック面接・相談対応研修会 1	2月1日	45
ストレスチェック面接・相談対応研修会 2	2月2日	38
健康診断機関職員研修会（基礎コース）1	8月8、9日	61
健康診断機関職員研修会（基礎コース）2	12月7、8日	70
健康診断機関職員研修会（中級コース）	12月12日	51
22コース		1,533

なお、教育研修委員会は3月4日及び3月18日に開催し、令和6年度研修会実施計画について検討を行った。教育・研修の実施に当たっては、総合精度管理委員会（労働衛生検査専門委員会、臨床検査専門委員会、胸部X線検査専門委員会、胃X線検査専門委員会、腹部超音波検査専門委員会）、メンタルヘルス専門委員会の協力を得た。

また、「産業保健のあり方に関する検討会」において保健師・看護師に関する研修に関する議論が行われ、それを受け厚生労働省において研究が行われていること等を踏まえ、新たに「保健師・看護師に対する産業保健に関する研修に係る検討会」を設置し、全衛連において実施する保健師・看護師等に係る人材育成について検討した。

4 相談・助言

厚生労働省により「フィットテスト測定機器等購入補助金事業」の補助事業者に選定され、定量的フィットテスト測定機器については一定の要件に合致する作業測定機関又は特殊健康診断実施機関からの、定性的フィットテスト測定キットについては一定の要件に合致する中小企業事業者からの申請内容を審査し、第1期公募期間及び第2期公募期間において、定量的フィットテスト測定機器は合計66機関に対して、定性的フィットテスト測定キットは合計29事業者に対して補助金を交付した。

5 共益事業

（1）健診結果データの提供

1) 一般健診結果データの保険者への提供

厚生労働省が令和5年3月に「定期健康診断等及び特定健康診査等の実施に関する協力依頼について」（令和2年12月23日付通知）を見直す通知を発出したことを踏まえ、受診者の保険証番号等の情報を事前に事業者から情報提供を受けることについて会員に対して周知した。

(2) 特定健康診査、ワクチン接種に係る集合契約等

1) 第3期特定健康診査等実施計画の推進

令和5年度特定健康診査等集合契約を健保連ほかの保険者団体と締結し、特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施を図った。

特定健康診査等集合契約保険者団体	会員施設	非会員
健康保険組合連合会（健保連）	161	73
全国健康保険協会（協会けんぽ）	161	73
日本私立学校振興・共済事業団（私学共済）	161	73
共済組合連盟（国公済）	161	73
地方公務員共済組合（地公済）	161	73
全国建設工事業国民健康保険組合（建設国保）	153	67
全国土木建築国民健康保険組合（土木国保）	153	62
富士通健康保険組合（富士通健保）	92	20
東京美容国民健康保険組合（東京美容国保）	31	8

2) 風しんに関する追加的対策

特定健康診査集合契約の枠組みを活用し、「風しんに関する追加的対策」に取り組んだ。

風しん追加的対策集合契約	会員施設	非会員
参加施設数	173	61

(3) 全衛連ストレスチェックサービス事業

1) 全衛連ストレスチェック処理システムの運用

サポートセンターを運営し、全衛連ストレスチェック処理システムを利用する会員機関に対するサポートを行った。

	件数
令和5年度	99

2) ストレスチェック実施体制の整備

全衛連ストレスチェックサービスの品質確保を図るため、ストレスチェックサービス業務に従事する医師、保健スタッフについて、日本産業精神保健学会認定専門職の取得を推奨した。

3) 用品等の製作提供

「あなたのストレスプロフィール」裏面の提供情報内容について令和5年度版に

更新した。また、ストレスチェックサービスに使用する用品等を制作し、提供した。

提供用品	内訳
ストレスチェックシート	80項目版、59項目版、57項目版、23項目版 【日本語版、英語版】
あなたのストレスプロフィール	57項目版・80項目版共通、23項目版 【日本語版、英語版】
新ストレスマネジメントハンドブック	No.1～15

6 会務運営

(1) 総会

6月15日、令和5年度定時総会を浅草ビューホテルにおいて開催した（参加者61、書面評決書提出者56、計117会員出席）。提出議案、報告事項について全て了承された。

＜議案＞

- ① 第1号議案 令和4年度事業報告書の承認について
- ② 第2号議案 令和4度決算報告書の承認について

＜報告事項＞

- ① 報告資料1 令和5年度事業計画
- ② 報告資料2 令和5年度収支予算
- ③ 報告資料3 会員・賛助会員の異動状況

(2) 理事会

次のとおり理事会を開催し、審議を行った。

理事会議事内容	開催方法	開催日
第1回理事会 <ul style="list-style-type: none">・令和5年度定時総会の開催について・令和5年度定時総会提出議案及び報告事項について（令和4年度事業報告書（案）、決算報告書（案）・令和5年度事業計画書、予算書・令和4年度会員、賛助会員異動状況）・令和5年度全衛連功績賞、奨励賞について・健診業務の実態に係る検討委員会設置について・健診8団体ガイドラインの改正について	仏教伝道協会 会議室	5月16日

第2回理事会 ・令和5年度全衛連運営研究協議会の開催について ・健診業務の実態に係る検討会について ・健診8団体ガイドライン「健康診断時における新型コロナウイルス感染症対策について」の今後の改正について ・賛助会員の入会について	三田 NN ホール会議室	7月 27日
第3回理事会 ・労働安全衛生法に基づく一般健康診断等の見直しへの対応について ・全衛連功績賞及び奨励賞表彰実施要領の改正について ・令和6年度役員改選時の役員候補者人数について	三田 NN ホール会議室	10月 24日
第4回理事会 ・令和6年度定時総会の開催について ・令和6年度運営研究協議会の開催について ・健康診断の委託関係に係る規程（案）について ・保健師・看護師に対する産業保健に関する研修に係る検討会の設置について ・賛助会員の加入について	三田 NN ホール会議室	1月 24日
第5回理事会 ・令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について ・健康診断の委託関係に係る規程（案）について ・賛助会員の新規入会希望及び退会について	三田 NN ホール会議室	3月 19日

(3) 経営企画委員会

経営企画委員会を開催し、令和6年度事業計画（案）、同予算（案）を作成した。

経営企画委員会	開催方法	開催日
令和5年度経営企画委員会 ・令和6年度事業計画（案）	オンライン	3月 8日

(4) 広報委員会

- ・全衛連広報誌「労働衛生管理」を定期的（年3回）に発行した。また、広報委員会を開催し、9月号、1月号、4月号の特集の企画を行った。このほか、令和5年度心とからだの健康推進運動の企画を行った。

広報委員会	開催方法	開催日
第1回広報委員会 ・連載「会員機関の顧客からの要望・意見への対応」の記事掲載ほか	全衛連会議室	6月21日
第2回広報委員会 ・特集テーマに関する検討ほか	全衛連会議室	11月8日
第3回広報委員会 ・「人材育成に関するアンケート」の検討ほか	全衛連会議室	2月8日

(5) 事業推進委員会

全衛連事業の推進について、検討を行った。

事業推進委員会	開催方法	開催日
第1回事業推進委員会 ・一般健康診断の検査項目等に関する検討会への対応、新たな健診項目の提案ほか	全衛連会議室	1月17日

(6) 地方協議会

対面、オンラインの方法で以下のとおり地方協議会が開催され、会員の事業展開における要望事項等について意見聴取等を行った。

地方協議会	開催方法	開催日等
東北・北海道地方協議会	山形市	4月4日
第1回近畿地方協議会	京都市	8月28日
第2回近畿地方協議会	京都市	2月14日
第1回中部地方協議会	浜松市	5月25日
第2回中部地方協議会	浜松市	令和6年4月23日
関東地方協議会	東京都	11月15日
九州地方協議会	熊本市	1月26日
中国・四国地方協議会	オンライン	2月9日

(7) 運営研究協議会

11月27日に浅草ビューホテルにて開催し、133人が参加した。

(8) 会員専用ページを活用した情報提供

全衛連速報を月1回発行し、行政の動き等最新の情報を定期的に提供した。

また、速報以外にも会員専用ページにより、厚生労働省検討会等の動きについて、即日情報提供をした。

さらに、行政の動きなど、会員専用ページに掲載できない機微な情報等については、会員機関事務責任者あて直接メールで情報を提供した。

提供媒体・提供時期	提供回数
①全衛連速報（4月号～3月号）、会員専用ページ掲載	12回発行
②行政情報、理事会情報等会員専用ページ掲載（随時）	26回提供
③事務責任者宛メール	206回提供